

「加古川市いじめ防止対策改善基本5か年計画」の取組状況（平成30年度2学期分）

1 未然防止への取組

(1) 第3回「心の絆プロジェクト」生徒会担当者会

- 日 時：平成30年11月26日（月）15:00～16:30
- 場 所：加古川市民会館大会議室
- 参加者：小中学校児童会生徒会担当教員
- 内 容

・9月「いじめ防止市民フォーラム」以降の取組に関する情報交換 **資料2**参照

(2) 「心の絆プロジェクト」生徒会代表者ミーティング

- 日 時：平成31年1月19日（土）14:00～16:00
- 場 所：加古川市民会館多目的室
- 参加者：各中学校の新生徒会代表24名
- 内 容

・9月「いじめ防止市民フォーラム」以降の取組に関する情報交換 **資料2**参照

<主な意見>

- ☆ 生徒会活動の中で学校全体が一致団結していることを実感できた。
- ☆ よいところ見つけに取り組んだことで、多くの友だちと仲良くなれた。
- ☆ 生徒会だけの取組とならないよう、生徒全員の意識を高めることができる活動にしていきたい。

・グループワーク：平成31年度「心の絆プロジェクト」テーマづくり

(3) 第11回加古川教育フォーラム

- 日 時：平成31年2月16日（土）13:00～16:00
- 場 所：加古川市民会館大ホール
- 参加者：各中学校の新生徒会代表24名
- 内 容

- ・平成30年度「心の絆プロジェクト」各校の取組紹介
- ・平成31年度「心の絆プロジェクト」テーマ発表
「みんなで つながり 見つけ合う！ あなたの 私の よいところ！」
- ・いじめを許さない学校づくりに向けてのメッセージ、歌「絆」

2 早期発見・早期対応への取組

(1) 研修会受講者による教育活動での実践

※「平成30年度学校生活適応推進研修会等実施アンケート」より（抜粋）

① 教育相談スキル研修

<実践したこと>

- ・自己肯定感の低い子どもに接する際、褒め方を工夫した。
- ・相手の言葉以外のメッセージも受け取ることを心がけた。
- ・子どもの話を聞く際、「傾聴」を心がけた。 など

<実践の効果>

- ・子どもは認められることで自信がつき、集団に入って行けるようになった。
- ・広い視野で物事を捉えることができるようになった。
- ・何でも話せる雰囲気をつくることで、子どもの本音を聞くことができた。 など

② 学校生活適応推進研修

<実践したこと>

- ・子ども同士のつながりを意識して声かけをするようになった。
- ・子どもがどのようなニーズをもっているのかを意識して見るようにした。
- ・グループ活動をする際に、自分の役割や全体のことを意識させるようにした。
- ・子どもと会話をするとき、「あなたの話を聞きますよ」という意思が伝わるように、体を子どもに向けて視線を合わせるようにした。
- ・ポジティブな言葉に置き換えて話すようにした。
- ・教師からの指示だけでなく、子どもに投げかけて自ら考えて行動させるようにした。
- ・子どもの話を聞くとき、待つことを心がけた。 など

<実践の効果>

- ・個々の子どもの思いやニーズを意識して声かけをすることで、子どものやる気を引き出すことができた。
- ・子どもが信頼して話してくれるようになった。
- ・「先生は聞いてくれる」という雰囲気が感じられた。 など

③ 自殺予防教育に関する研修

<実践したこと>

- ・TALKの原則を自殺予防だけではなく不登校対策にも活かした。
- ・子どもの些細な言動によるサインを見逃さないように努めた。
- ・子どもの話に共感しながら聞いた。 など

<実践の効果>

- ・子どもとの会話の中で、色んなことを以前より話してくれるようになった。
- ・子どもが話したことを認めることによって表情がよくなった。
- ・共感しながら話を聞くことで安心した様子がうかがえた。 など

④ 危機管理に関する研修

<実践したこと>

- ・日頃からの備えについて、教職員の意識を高めている。
- ・「小さな事案への対応をきちんとすることで重大事態を防ぐ」という意識をもっている。
- ・来校された方への声かけをするようになった。 など

<実践の効果>

- ・これまで以上にきめ細かな子どもへのかかわりを持つようになった。
- ・意識的に来校者に声かけをすることが、不審者対応への意識付けになっている。 など

(2) 研修受講者による学校でのフィードバック

※ 「平成30年度学校生活適応推進研修会等実施アンケート」より（抜粋）

- ・校内研修を実施し、研修内容を全教職員に伝えた。
- ・職員会議、生徒指導委員会等で研修内容を伝えた。
- ・教育相談コーディネーターが中心となって研修内容を取り入れるための計画を立てた。
- ・研修で学んだことを、校内研究授業で実践した。
- ・研修で学んだことを生かし、教育相談のための環境整備を行った。 など

3 関係機関との連携を強化した取組

◇ 「スクールサポートチーム」による学校支援

(1) 各学校への情報提供

- ・スクールサポートチームによる対応事例を「教育相談センターだより」にて各学校に提供

(2) 活動実績

- ① 「定例会」の開催（月1回）
 - ・学校から相談を受けている諸問題への対応等を検討
- ② 学校への派遣
 - ・児童生徒へのカウンセリング
 - ・学校で起こった諸問題への対応に関する教職員への助言
- ③ 教育相談センターでの相談
 - ・児童生徒へのカウンセリング
 - ・保護者との面談
 - ・学校及び関係機関との連携
- ④ 電話やメールによる助言
 - ・スクールロイヤーからの助言

4 推進体制・検証体制を整える取組

(1) 学校生活に関するアンケート、心の相談アンケート、教育相談の取組状況

- ・1月に指導主事が各小中学校を訪問し、取組状況について聴き取りを実施

(2) いじめの正確な認知に向けた各学校への周知

- ・文部科学省通知を踏まえ、定例校長会、教頭会により周知
- ・指導主事による聴き取り訪問を通じて、学校長、担当教員に周知